

令和八年度学力検査問題

国語 ① (人文学部) 前期日程

(問題紙 一〜二十二ページ 別紙解答用紙枚数 一枚)

解答時間 一二〇分

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二、本冊子のページ数は右に示したとおりである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがある場合は申し出ること。
- 三、解答はすべて別紙解答用紙のそれぞれの解答欄に記入すること。
- 四、解答用紙の指定された欄(二箇所)に、忘れずに本学の受験番号を記入すること。
- 五、試験場内で配付された問題冊子は試験終了後持ち帰ること。

一

次の文章は、薬学の知識をもちいて素材の配合を細かく決めた猫の食事を大学院生Rさんが作っていることを紹介した後、続くものである。この文章を読んで、後の設問に答えよ。（*は本文の後に注があることを示す。）

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

(福永真弓「自炊と自己家畜化」より。出題に際し原文を一部改めた。)

〔注〕 *全体主義⇨ここでは、みなが同じ方向に向かうこと。

*胎座⇨植物の子房内で、種子のもととなる胚珠はいしゅが付着する部分。

*中食⇨調理済みの食品を自宅などに持ち帰って食べること。

問一 傍線部①の「人間の「自己家畜化」とは具体的にどのようなことか、筆者が考えていないことを、次の選択肢の中から一つ選んで、記号で答えよ。

ア 人工物でつくられた居住空間で生きること。

イ 苦痛を避けること。

ウ 他者としての自然と対話すること。

エ 整形などにより姿形を変えられること。

オ 生殖を管理・統制されること。

カ 自分で収穫しなくても食を得られること。

問二 傍線部②「不快の欠如態としての社会に生きること」を「安楽」とみなす現代社会の風潮」は藤田の指摘であるが、筆者は、現在我々は「安楽」に生きるために何をしていると考えているのか。具体的に七〇字以内で説明せよ。

問三 傍線部③に「どのように食をセルフハンドリングするかが「私らしさ」を表現する場となり」とあるが、「食をセルフハンドリングする」と対極にある行動は何か。最も適切な語句を本文中から八字で抜き出して記せ。

問四 傍線部④に「私たちはセルフハンドリングにおさまらない「自炊」にたどりつく」とあるが、ここでいう「自炊」とはどのようなことか、具体的に六〇字以内で説明せよ。

問五

a

ゝ

d

のカタカナを漢字に改めよ。

二

次の【文章A】は阿川佐和子「古ヒー」、【文章B】は湊かなえ「コーヒー革命」の全文である。【文章A】・【文章B】を読んで、後の設問に答えよ。（*は本文の後に注があることを示す。）

【文章A】

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

（阿川佐和子「古ヒール」）

著作権の関係上、公開しません。

著作権の関係上、公開しません。

(湊かなえ「コーヒー革命」)

〔注〕

*ハーフラウンドⅡゴルフの一八ホールラウンドの半分の九ホールをプレーすること。

*ブリーチーズⅡフランスのブリーチ地方で生まれた白カビチーズ。クリームのように柔らかく、濃厚な味わいが特徴。

*グラインダーⅡコーヒー豆をひく機械。電動コーヒーミル。

*エスプレッソマシンⅡエスプレッソをいれる機械。エスプレッソとは、コーヒー粉に圧力をかけて短時間で成分を抽出する方法、またはその方法でいれたコーヒー。

*ドリップⅡコーヒー粉にお湯を注ぎ、フィルターを通して成分を抽出する方法、またはその方法でいれたコーヒー。

問一 傍線部 a、d の表現について、ここでの最も適切な意味を選択肢から選んで、記号で答えよ。

a きらいがある

ア 食わず嫌いがある

イ 傾向がある

ウ 想像力がある

エ 役割がある

b 新鮮で

ア 生き生きとしたさまで

イ これまでにならないさまで

ウ 出来立てであるさまで

エ 濁りがなくきれいなさまで

c 新鮮に限る

ア 新しい豆なのでおいしい

イ ハワイ産のフレーバー入りの豆が良い

ウ 古い豆はおいしくない

エ 新しい豆には限界がある

d 福はずつと続いている

ア クジ運は強くないのにまた福引きが当たった

イ 福引きで当てたエスプレッソマシンが直った

ウ 家でいれるコーヒーよりおいしいコーヒーに出会った

エ 家でおいしいコーヒーをいれ続けている

問二 【文章A】の傍線部①に「おかわり自由のレストランのように、絶えることなくコーヒーが補充されていく」とあるが、この朝食の場面でコーヒーの「補充」を勧められた人物として最も適当なものを、次の選択肢から過不足なくすべて選んで、記号で答えよ。

- ア 「友人」 イ 「友人」の子 ウ 「友人」の配偶者 エ 「私」以外の同級生
オ 「私」 カ 「私」の子 キ 「私」の配偶者 ク 「私」の親

問三 【文章A】の傍線部②に「もはや事態は緊急の様相を呈してきた」とあるが、具体的にはどのような状態か。この「事態」を引き起こした要因がわかるように、五〇字以内で述べよ。

問四 次の文章は【文章A】と【文章B】について説明したものである。空欄 にふさわしい内容を考えて、五〇字以内で書きなさい。

【文章A】も【文章B】も、それほどコーヒー好きではなかった人が、大のコーヒー好きになった経緯を描いたものである。

【文章A】は、「私」がコーヒーをたくさん飲めるようになった理由を明確にこれだとは断定していない。そのきっかけとなった朝食での友人のもてなしと交流を中心に、自宅で自分でいれたコーヒーの話までを、コミカルに描いている。

【文章B】は、「わたし」がコーヒーを好きになったきっかけをはっきりと示している。「コーヒー革命!」という印象的な表現からは、「わたし」のコーヒーに対する意識が ということがよく伝わってくる。

三

次の【文章Ⅰ】は、鴨長明による『無名抄』の一節である。【文章Ⅱ】は、『金葉和歌集』に収録された和歌である。【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】を読んで、後の設問に答えよ。（*は本文の後に注があることを示す。）

【文章Ⅰ】

著作権の関係上、公開しません。

（『無名抄』より）

（『金葉和歌集』四三二番歌）

〔注〕 *法性寺殿に会ありける時〓藤原忠通の屋敷で歌会があったときに。法性寺殿とは、平安時代後期の公卿で歌人の藤原忠通を指す。

*俊頼朝臣〓源俊頼。平安時代後期の歌人。「朝臣」は敬称。

*兼昌〓源兼昌。平安時代後期の歌人。

*講師〓歌会で和歌を読み上げて披露する役のこと。

*公任〓藤原公任。平安時代中期の公卿で歌人。

*天の橋立〓現在の京都府宮津市にある砂州。白砂青松の景観で知られる。

問一 傍線部A「まゐり」は誰から誰への敬意か、次の選択肢の中から選んで、記号で答えよ。

ア 藤原忠通

イ 源俊頼

ウ 源兼昌

エ 書き手(鴨長明)

問二 傍線部B「殿聞かせ給ひて」、傍線部C「興ぜさせ給ひけり」について、主語となる人物の名前を具体的に示した上で、現

代語訳せよ。

問三 傍線部①「下泣きして、しきりにうなづきつつめで感じけり」とあるが、なぜ兼昌はそのような反応をしたのか。〔文章

I〕の和歌の適切な箇所を引用して、具体的に説明せよ。

問四 傍線部②「かの三首の題を歌一首」に詠んだ和歌とは、【文章Ⅱ】を指す。(1)この和歌を現代語訳せよ。また、(2)【文章Ⅰ】では、【文章Ⅰ】の和歌と【文章Ⅱ】の和歌を比較してどのように評価しているか。最も適切なものを、次の選択肢の中から一つ選んで、記号で答えよ。

ア 【文章Ⅰ】の和歌の方が、余情の豊かさではやや劣っている。

イ 【文章Ⅰ】の和歌の方が、悲哀を感じさせる点ではやや優れている。

ウ 【文章Ⅱ】の和歌の方が、心配りにおいてやや秀でている。

エ 【文章Ⅱ】の和歌の方が、機転の良さではやや及ばない。

オ 【文章Ⅱ】の和歌の方が、情趣を感じさせる点ではやや勝っている。

問五 鴨長明の『無名抄』と成立時期が近い作品として最も適当なものを、次の選択肢の中から二つ選んで、記号で答えよ。

ア 『伊勢物語』

イ 『風姿花伝』

ウ 『新古今和歌集』

エ 『奥の細道』

オ 『玉勝間』

カ 『枕草子』

キ 『太平記』

ク 『発心集』

四

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。（*は本文の後に注があることを示す。また、設問の都合で、振り仮名や送り仮名を省いた箇所がある。）

著作権の関係上、公開しません。

（原念齋『先哲叢談』より。出題に際し原文を一部改めた。）

〔注〕 *兼山⇨野中兼山のこと。土佐の人で、土佐藩に仕えていた。

*蛤蜊⇨ハマグリやアサリなどの二枚貝。

*嘗⇨味わう。

*飫⇨満足する。

問一 傍線部(a)と(c)の訓読みを答えよ。送り仮名があれば、それも含めること(現代仮名遣いで構わない)。

問二 波線部「無物不有」とはどのようなことか、平易な表現に言い換えて説明せよ。

問三 二重傍線部「既至則命投其所漕於城下海中、不余一箇」とあるが、兼山はなぜこのようなことをしたのか説明せよ。

問四 破線部「遠慮」とはここではどのような意味であるか、簡潔に述べよ。